

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年7月22日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし
 区分 : 該当なし
 区分 : 該当なし
 その他 : 7 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	第3給水加熱器水位調節主弁点検時、シートリングのシート面に浸食が認められたため、当該シート面を補修。	G	
2	1号機	復水・給水系低圧復水ポンプ(C)吐出弁点検時、弁体シート面に微少穴及びヒビが認められたため、当該シート面を補修。	G	
3	1号機	主復水器連続洗浄装置ボール循環ポンプ(C)点検時、電動機取付ネジ部(1箇所)に腐食が認められたため、当該ネジ部を補修。	G	
4	1号機	低圧蒸気タービン(A~C)の第3~第8段の部品(グランドパッキンケーシング)点検時、端面に浸食が認められたため、当該部を補修。	G	
5	1号機	低圧蒸気タービン(C)内部車室点検時、リップ溶接部等に浸食が認められたため、当該部を補修。	G	
6	1号機	タービンバイパス弁(第1弁)点検時、弁体シート面に浸食が認められたため、当該シート面を補修。	G	
7	4号機	ドライウエル露点温度記録計において、指示値不良(オーバースケール)が認められたため、当該計器及び検出器を点検。(関連パラメータに異常なし)	G	